

「情報公開文書」

受付番号：2017-3-29

課題名：歯根端切除術用顎模型の教育効果について

1. 研究の対象

東北大学病院歯科臨床研修医

2. 研究期間

西暦 2018 年 5 月 (倫理委員会承認後)～2020 年 3 月

3. 研究目的

これまで歯根端切除術は保険導入されながらも大学における歯科教育では座学に留まり、根尖病変除去から逆根管充填までの一連の外科的歯内療法を教育できるシステムが存在しないのが現状である。予め卒前の基礎教育で実習を行なった後に実臨床で歯根端切除術の見学や補助を行うことでより理解度が高まり効果的な教育が実践できると予想される。そのため実臨床に近い歯根端切除術教育用の顎模型を開発し、その有効性を評価することとした。

4. 研究方法

視覚素材と口頭による歯根端切除法の説明後、顎模型を用いて骨窩洞の開拡、根尖病変の除去、逆根管形成、逆根管充填を行う。実習終了後、模型を評価し、フィードバックを行ったのち再度模型実習を行い、手本模型との差を1回目実習結果と2回目実習結果を比較検討する。実習終了後、目視で骨窩洞の大きさをデジタル撮影し、ピクセルによって面積を算出する。また根尖病変の除去状態は目視で判定し、歯根切断、逆根管充填の状態は試験歯を顎模型から抜去して実長を計測する。統計処理は、手本に対して、各項目をスコア化して重回帰分析を用いて有意水準5%で解析する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

歯根端切除術教育用の顎模型

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

研究責任医師：齋藤正寛、

所属：東北大学歯学部口腔修復学講座歯科保存学分野

連絡先：〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 4-1

電話：022（717）8340

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合